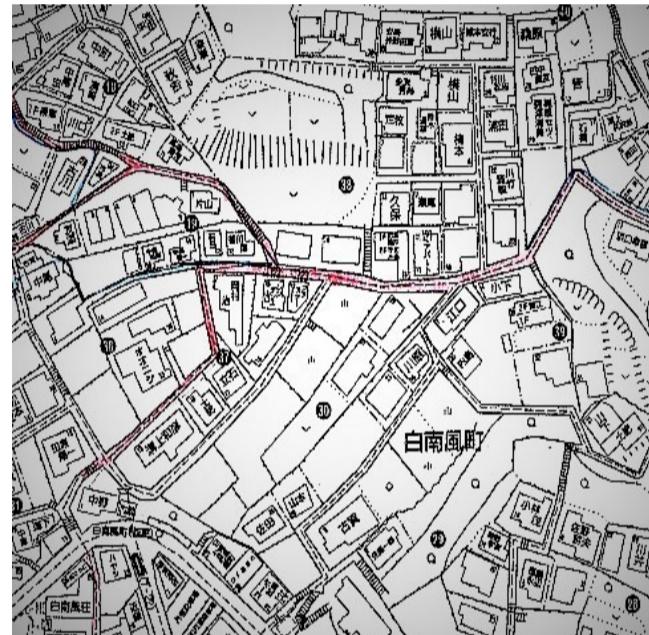


## 農村インフラの都市？

・都市のなかで道路は2つの役割を担っています。1つは交通手段であり、もう1つはインフラを埋め込む施設です。この2つの役割の道路によって、都市内の敷地が有効に使われるものです。交通手段としての道路によって、居住者や外来者は都市で働き、学び、生活を楽しめ、埋め込まれたインフラによって、快適な住生活が営まれるのです。

・白南風町の坂の上のエリアはかつての農道が都市インフラに転用されたのではないでしょうか。赤道（あかみち）・里道と言われる旧農道がそのままに都市の道路として使われているのですから、道路幅は2m以下しかありません。交通手段としても、上下水道、ガスの管が埋め込まれる施設としても十分ではありません。のために住宅の再建設が難しく、人口流出が続いているのでしょうか。

・大事なのは、点や線だけでとらえるのではなく、面でも観察することです。そこから農村インフラから都市インフラへの転換をどう進めるのかを考えなければなりません。



地図（ゼンリン）と写真は三浦町・白南風町・山祇町のエリア。赤道と道幅表示。

見えにくいが地図に赤道を表記し、写真は道幅が2m未満を計測。

## 「みんなの広場（整備中）」の看板設置の思い

・12月8日、佐世保市白南風町36番6号の瀬尾（川尻）宅の石垣に「みんなの広場（整備中）」の看板を住民参加イベントにより設置しました。横180センチ、幅90センチの大きなものです。この広場は私有地であって、瀬尾さんの土地ですが、現在では利用方針が決められておりません。所有者の瀬尾さんが利用を決められるまでの間、空き地の状態にしておくのではなく、地域住民の皆さんに開放することになりました。

・このようにすることによって、「空き地」の間でも地域の人たちが使うことができ、地域社会に活気が出るものと考えました。今は20個の大型プランターに春の花を植えており、2月12日（日）には大きなテントを設置し周辺住民による井戸端会議が行われます。どうか皆様、この広場に身を置き、まちと地域社会を豊かにしようではありませんか。

・来年度は斜面地の坂の上に新たに「みんなの広場（整備中）」を設置する構想です。ご協力とご支援をお願いします。

### 斜面地低未利用地再生事業

長崎県の県民ボランティア基金から支援を受け、8月から令和4年度斜面地低未利用地再生の市民活動を進めてまいりました。これまで足掛け7か月間、モデル宅地の草刈や花植え、交流イベント等を進めました。これからは次年度に向けてのまとめの段階に入ります。今後とも支援と協力をお願い致します。

### コミュニティの再生

「坂の上の暮らし」のコミュニティでも6m道路に近いエリアと大きく離れているエリアでその様相が違うようです。前者は内向きで新しい動きを受入れにくい傾向がみられます。後者は人口流出が多い一方で、住民の個の結び付きが強いことが観察されます。この違いはこれからコミュニティ再生のあり方の鍵になりそうです。

### 斜面モビリティ事業

2月4日（土）にオカネツ社製のノボロを坂の上において実験運行しました。白南風町36番10号から赤道を伝って高さで15メートルほど登り、山祇町方向に向かって100メートルほど走らせました。時速約3キロで1人が乗り、1人がハンドルを握りました。大人のおもちゃのようで、通行する人からの笑いを誘いました。